

令和5年9月 番組審議会議事録

株式会社び〜びる

2023年9月5日

作成：放送部 富永豊嗣

令和5年9月番組審議会 議事録

- 日 時 令和5年9月5日（火）10：30～11：00
- 会 場 株式会社び～びる 大会議室
- 出席者 委員 松田 毅（佐賀新聞 唐津支社長）
委員 山口 ひろみ（唐津市子育て支援情報センター センター長）
委員 山下 正美（唐津商工会議所 専務理事）
委員 石崎 有希子（唐津市政策部広聴広報課 課長）
委員 木村 剛（唐津青年会議所 青少年交流委員会 委員長
／㈱渚館きむら 代表取締役）〔新任〕
- び～びる 中村 隆（代表取締役社長）
び～びる 山下 善史郎（取締役常務）
び～びる 亀井 信一（取締役放送部長）
び～びる 松尾 卓（放送部課長）
び～びる 富永 豊嗣（放送部チーフデスク）
- 欠 席 委員長 栗原 宣康（唐津市 教育委員会 教育長）
委員 中武 友子（相知町地域婦人会 会長）
委員 宮崎 吉輝（玄海町議会議員）
- 退 任 委員 伊藤 正一郎（唐津青年会議所 副理事長
／伊藤けえらん 専務取締役）

※敬称略。委員は席順

■. 株式会社ぴ〜ぷる 社長 中村 隆 挨拶

新しく委員長の栗原委員がコロナに感染されたため、特例的にこちらで議事進行する（委員 8 名のうち 5 名の出席で会は成立）。

番組審議委員会は放送法の中で決まっている。

地域の中で放送を行うのが、言葉の端々や表現のあり方は気を付けている。

番組の内容をしっかりと、小さいところまでチェックしていただき、地域に有益なものになるようにしたい。

■. 委嘱状授与

木村 剛（唐津青年会議所 青少年交流委員会 委員長
／(株)渚館きむら 代表取締役） ※新任

番組審議委員 木村委員 新任挨拶

今回お話をいただき、どんなことを発信、発言するのかちょっとわからない状態だが勉強させていただきながら、皆さんと一緒に時間を過ごしたい。

■. 番組審議（下記対象番組）

※栗原委員長不在につき中村社長が議事進行し、亀井部長が補足説明行う。

審議主対象番組①

●『唐津まつり紀行』（2023年6月号）

【初回放送】2023年6月26日 【番組時間】30分 【制作】田中直也

市内各地の祭りや伝統行事などを毎月更新で紹介している『唐津まつり紀行』。6月号は、おくんちニュース「佐賀県文化芸術祭 唐津くんち曳山出演」、祭り特集「呼子大綱引 4年ぶりに開催」、祭りニュース「後川内子供浮立」の3部構成。特集では、コロナ禍と人員不足で3年間中止となり、ことし4年ぶりに開催された呼子大綱引を取り上げた。祭り当日の様子のほか、伝統を絶やさないよう振興会が取り組んでいる啓発事業の一環で開催された「ミトづくり研修会」も取材。呼子大綱引を後世に伝えようと奮闘する祭り関係者の姿と声を伝えた。

●主対象①『唐津まつり紀行』（2023年6月号）の意見（要約）

松田：番組の作り方で思ったのが、アーカイブを持っていることは深みがあるということ。それでより伝わるものがあるなと思う。

石崎：佐賀アリーナの件は会場で初めて曳山を見た人のインタビューを聞いたかった。

山下：県内5つの祭りが紹介されたと思うが、唐津くんちの存在感が圧倒してる感じがした。あと、非常に細かいが、呼子大綱引は4年ぶり、去年は引き手不足で中止になったと説明があったが、一瞬引き手不足で中止になったのか、人口減少の中の人手不足かなと思ったが、よくよく考えてみれば

「コロナが収まってなかったので参加したくない」という人。そうした説明があれば。

中村：そのあたりの説明は足りなかったかもしれない。

山口：（他局の）いろんなニュースで取り扱われたが、短い取り扱いだったので、じっくり映像を流していただくことで、参加できなかった人などもじっくり見てもらえたのではないかと。石崎委員の話のように、会場の声があればアリーナの雰囲気伝わってきたのではないかと。

いま教育委員会のことで関わっているが、浮立など祭りが衰退している。

教育委員会にも記録として残していくのが必要だとの話は上がっている。

このように映像で、記録として残しているのは本当にありがたい。

「まつり紀行」は最後のテロップで1人でしていると。それは大変だろうと思うがチームとしてやれば新たな視点など入れ込めるのではないかと。

中村：ある地区から相談があり、神事が終わった後、地元の高齢者が映像で祭りを見て楽しむという形はどうかと言われた。人口減で若手も少ないのを感じる。

木村：「まつり紀行」は背景があって、祭りへの思いが大変伝わる素晴らしい番組だと思い拝見させていただいていた。呼子のコバヤシさん（知人）が4年ぶり開催についてやはり思いが大変詰まって、全面的に伝わる内容だった。

若手不足で祭りができなくなってきている現状で、若手にこの言葉や思いが伝わればまちの意識改革になるのでは。

審議副対象番組 ①②

●副対象①『からとぴ』（15分）2023年5月11日放送回

【初回放送】2023年5月11日【番組時間】15分【制作】富永ほか

地域の話題や出来事をデイリーで伝える『からとぴ』。5月11日放送回では

「唐津市×新日本プロレスコラボ事業 合同記者発表会」

「日本釣振興会佐賀県支部 清掃活動」の2本と

「特集 ゆめさが大学「チーム唐津弁」の挑戦」を放送。

特集は「唐津弁ラジオ体操」のCD制作というユニークな取り組みを録音風景や完成したラジオ体操お披露目の様子を通して紹介。

●副対象②玄海町行政放送『第5回きてろ祭 in パレア』

2023年6月25日初回放送【番組時間】約1時間4分

【制作】中西・吉原彩花ほか

玄海海上温泉パレアで年2回開催の「きてろ祭」。番組では地元のグルメや

雑貨販売などの紹介に加え、カヌーや遊覧船の体験などのイベントを

リポーターが体験しながら紹介。出店者インタビューや参加者のインタビューを交えながら

玄海町の魅力発信。視聴者に次回行ってみたいと思ってもらえるような番組構成を

心がけて制作。

●副対象①②まとめでの意見（要約）

山下：（①について）

ゆめさが大学のことは全然知らなかったなので、紹介してもらってよかった。
ご当地ラジオ体操の紹介もあり知識が増えた。平凡なテーマでも
いろんな広がりを持ってると感じた。

亀井：（②について）

ここには書いていないが、玄海町が今年から YouTube チャンネルを
本格的に開始。対外的にも発信しようということと兼ね合わせて作っている感じ。

松田：（②について）

玄海町が動き出した感はある。地元も発信しようという空気ができている。
番組は、イベント紹介にとどまらず、いろんな人や食、リポーターのキャラなど
楽しんでいてよかった。

亀井：リポーターは外部。玄海町は 2 人体制でやっている。

石崎：（②について）

YouTube で流していると説明があって腑に落ちた。
魅力は伝わったが、少し長かった。分けてもよかったのでは。内容は詰まっていた。
（①について）

昔び〜びる放送で流れていた山下さんが出て、昔笑って見てたのが
ものすごく懐かしかった。印象的な番組は何十年後でも覚えている。

中村：（②について）

唐津地域はいくつもコミュニティチャンネルがあった（相知・浜玉）。
出演者が多くて内容がないというのが、コミチャンの 1 番の魅力。
それに合わせれば災害などあったとき、チャンネルを合わせる視聴習慣がついた。
統合され、浜玉・相知の人からは「全然面白くない」といまだに言われる。
1 時間以上の番組でもずっと見ていたのは、出ている人を見るという
小さなコミュニティがあったがいまはそれがなくなっている。

亀井：（②について）

「きてろ祭」は盛りだくさんすぎるようになったのは玄海町の意向。
見せ方としては 1 本にまとめるのか何本かに分けるのかは必要。

木村：（①について）

ラジオ体操は今回番組で初めて知った。青年会議所でも毎年スポーツ例会で
ラジオ体操をやるが、こうして広がると唐津弁の認知もあがるのでは。

（②について）

「きてろ祭」は催しの中身や玄海町の人々人が見えてよかつ。

山口：(①について)

唐津弁ラジオ体操はいい取り組み。このラジオ体操を学校や幼稚園などに取り入れたら、唐津の子どもたちがこの体操をして育っていく。

面白い取り組みになるのでは。

ゆめさが大学の学生さんは皆元気でいろんなことにチャレンジしている。

ほかの取り組みも紹介すればおもしろいのでは。

(②について)

玄海町町民は行政放送が大好き。「きてろ祭」も映像を通して地域の繋がりのきっかけの1つになっている。

公式 YouTube は、外からまた遊びに足を運んでほしい思いがあると思うので少し短く編集するともっとたくさんの方々が足を運ぶきっかけになるのでは。

(迷い犬について)

「迷い犬」は衝撃的で、これが地域密着では。なかなかこんなものはない。

亀井：(迷い犬について)

10年ぐらい前、大学教授から評価いただいた

(②について) 対する、

「きてろ祭」はすでに YouTube に上げて、何回かパート分かれている。

■. その他

亀井：審議対象ではないが、高校野球中継は今回決勝まで放送することができた。

「バーチャル高校野球」に映像を提供しネットでライブ配信した。

かなり評判もあったようだ。ただ、ネットでも見られるのは、コミチャンとの兼ね合いがつかない。

松田：アベマ視聴？

亀井：バーチャル高校野球。テレビ朝日と朝日新聞が運営しているサイト。

山口：私もネットで見えていたが、ぴ〜ぷるの再放送は夜また見られる。

家に帰って高校野球を見られたのですごく嬉しい。

中村：通信を使いスマホで見るという形にも変わってくるというのが明らかになってきた。

こういうことがテレビ離れとして現れた。放送局としては、視聴率、接触率を

上げるか下げるかは、もうこれは明らか。でも流れとしては、

通信で映像を見る事態がもうそこまで来ている。それを課金とかどうビジネスにつなげていくか模索しないと。

亀井：日本ケーブルテレビ連盟の放送基準が本年4月1日付で改定された。

大きな変更というより時代に合わせた表現の変化、ジェンダー問題など表現の変更。

6. 次回番組審議会について

亀井：次回審議会は3回ベースに戻し12月に。コロナ前は忘年会を兼ねていたが、今回はどうするか、そのころの様子を見ながら案内したい。

7. 閉会

※付記（栗原委員長より文書にて回答）

令和5年9月 番組審議会 DVD 視聴の感想

1 「唐津まつり紀行 2023年6月号」

栗原宣康

(1)おくんちニュース 「佐賀県文化芸術祭 唐津くんち曳山出演」

文化芸術祭の時間の長さをいかにまとめて、あの雰囲気伝えるのかを工夫されている。会場が広く、暗い時間が長かったので、映像が難しかったと思う。場内ではギャラリーから遠くて詳細が見えにくい状況だった。アップでの映像でそのあたりを伝えようとの意図が感じられた。もう少し、アップでの映像が増やした方が、より分かりやすかったかもしれない。

山内総取締、戸川宮司、力武副取締、花島副取締のコメントはそれぞれの思いと曳山の魅力、今回の企画の充実感が伝わり、とても良かった。

当日、会場で改めて、曳山の魅力を感じたが、その時の様子がうまく伝わるようにまとめられていた。

(2)祭り特集「呼子大綱引」

(2) 祭り特集 「呼子大綱引 4年ぶりに開催」

4年ぶりに開催される大綱引きの魅力を、始めてテレビで観る方々にも、これまで大綱引きを知っている方々にも、しっかり伝える内容につくられている。

小林総取締のコメント、岡組、濱組それぞれの代表のコメント、ミト製作講習会を計画した金田氏のコメント、いずれもそれぞれの思いが十分伝わる時間で撮られていてよく伝わった。

長らく、この祭りのことも知っているし、参加したこともあるが、大綱引きの魅力をとてもよく伝えられています。

(3)祭りニュース 「後川内子供浮立」

地域に大切に継承される伝統芸能を、よくわかるようにまとめられている。

地域に根差し、後継者が減少する中、子供たちが意欲的に取り組んでいる地域の素晴らしさが伝わってくる構成となっている。

2 「からとび」

3 「第5回 きてろ祭 in パレア」

初めてこの番組でこのイベントのことを知った。

レポーターの明るい声や周囲への心遣いもとても好印象だった。各ブースの紹介もどれも時間をかけて詳細に出店者の思いを伝わってくるものだったし、シーカヤック、遊漁船に乗り込んで体験してその魅力がよく伝わる内容になっていた。

次回はぜひ、家族を連れて行ったみたい気持ちにさせてもらった。